

# プラスチック製品の表面特性評価(SPM)

プラスチック製品の表面特性の評価にSPM(Scanning Probe Microscopy)が有効である。これは先鋭な探針(プローブ)の先端で試料表面を走査しながら、試料表面と探針の先端の間に働く相互作用を利用したもので、試料表面の凹凸形状をはじめ、表面分子との絡み合い、親水疎水性、粘弾性、熱変形、電気抵抗などの様々な表面の物理情報をナノオーダーの3次元の画像情報として得ることができる。さらに各種表面特性の温度依存性の情報も得ることができる。

